

消火栓ボックス仕様書

1. 適用範囲

この仕様書は、佐久水道企業団が使用する消火栓鉄蓋及び下柵について規定する。

2. 鉄蓋

2.1 種類

鉄蓋の荷重使用は T-25 とする。

2.2 構造及び形状

鉄蓋の構造及び形状は、JWWA B 132(水道用円形鉄蓋)に準拠したものとし、以下の構造を有するものとする。

- a) 円形 3 号(内径 ϕ 500) とする。
- b) 蓋の表面には、視認性を向上させるためのカラー標示ができる構造であること。
- c) 蓋と受枠との接触面は、機械加工して急勾配受けとし、蓋のがたつきを防止できる構造であること。
- d) 蓋は、雨水及び土砂の流入を極力防止するため、閉塞蓋を取付けた構造であること。
- e) 蓋と受枠とは、蓋の逸脱防止のため蝶番にて連結できる構造とし、蓋は 180° 垂直転回及び 360° 水平転回が可能であること。
- f) 蝶番は、雨水及び土砂の流入が防止出来る様、蓋裏取付け構造とし、蓋と受枠との着脱が可能であること。
- g) 受枠のフランジは、下柵の上部壁と、ボルトにて緊結できる構造であること。ボルトは、JIS B 0205 及び JIS B 0209 に規定する M16 を標準とする。
- h) 蓋の表面模様は、「消防車」及び「佐久水道企業団の団章」の表示を行うこと。
- i) 管理番号を英数字(0~9、A~Z)6 桁表示できること。
- j) 受枠は除雪対応型とすること。

2.3 性能

- a) 耐荷重
JWWA B 132 に準拠し、350kN の試験荷重に対し、割れやひびがないこと。
- b) 開放性
210kN(10 秒) \times 10 回の予荷重をかけた鉄蓋の開放力として、バール操作力 50kgf 以下で開放できること。
- c) ずれ上がり防止性
蓋の両端に交互(3 回)に荷重(35kN)をかける試験を行い、変位量(ずれ上がり)を測定する。その際の揺動(ずれ上がり)量は 1.0mm 以下であること。

2.4 施工

- a) 鉄蓋の施工(高さ調整)部材は、アンカーボルトの締付け過ぎによる受枠の変形を防止する性能を有すること。
- b) 鉄蓋の施工は、調整部の耐久性を確保するため、高流動性、超早強性、無収縮を有する調整部材を用いて行うこと。

3. レジンコンクリート下柵

3.1 種類

JWWA K 148(水道用レジンコンクリート製下柵)に準拠し、T-25 対応とする。

3.2 構造及び形状

- a) 上部壁-斜壁 $\phi 600 \times 500$ 、下部壁-直壁 $\phi 600$ とする。
- b) レジンコンクリートの品質は下記圧縮強度及び吸水率を満たすこと。

品質	圧縮強度 [MPa]	吸水率 [%]
規格値	90 以上	± 0.3 以内

3.3 性能

JWWA K 148(水道用レジンコンクリート製下柵)に準拠し、軸方向耐荷重性は 150kN の試験荷重に対し、割れやひびがないこと。

4. 設置例

